



備えて 守る

いつ起こるか分からない災害は、行政だけでは十分に対応できません。いざという時のために、皆さん一人ひとりの日ごろからの心構えが大切です。このコーナーでは、災害時に役立つ情報や対策などをご紹介します。

阪神淡路大震災の教訓 自助・共助を考える



阪神淡路大震災は、日本の安全神話を根底から覆し、大きなダメージを残した一方で、私たちは、この震災から多くのことを学びました。被害を完全に防ぐことはできない。



「気づき・きっかけ」
「近所防災サミット」開催
阪神淡路大震災を悼み、その教訓を基に高島市内で進める自助・共助の取り組みをより一層深め、具体的に実践していくことをめざして、高島市社会福祉協議会と共同で防災サミットを開催します。

大規模な災害の直後は、行政は思うように機能しません。頼れるのは自分と家族、そして隣近所や地域のつながりであり、こうしたつながりが多くの命を救い、お互いが助け合い励まし合って局面を乗り越えたという事実があります。これこそ「自助・共助」の気づきです。この「自助・共助」こそが、「減災」を行う上で最も重要な要素なのです。

私たちは、多くの人々の犠牲によって得られた、こうした教訓を風化させることなく、自分たちの暮らしの中に取り込んでいかなければなりません。

「気づき・きっかけ」
「近所防災サミット」開催
阪神淡路大震災を悼み、その教訓を基に高島市内で進める自助・共助の取り組みをより一層深め、具体的に実践していくことをめざして、高島市社会福祉協議会と共同で防災サミットを開催します。



▼日時 1月28日(日) 13時~17時
▼場所 安曇川ふれあいセンター 高島市
▼主催 高島市社会福祉協議会

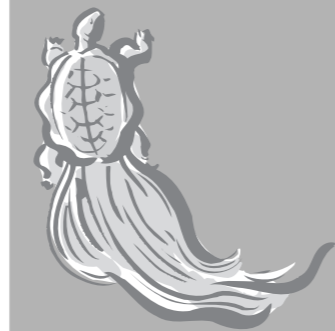
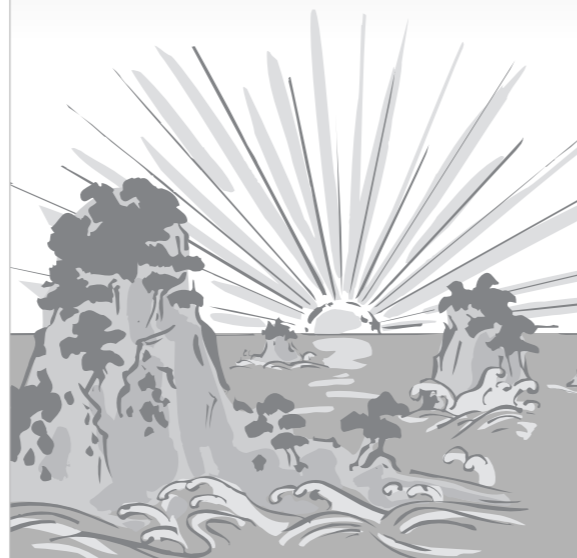
11月の火災・救急・救助 件数

平成18年11月分 ()内は年累計

▼火災	建物火災/0(7)	車両火災/1(3)	その他火災/1(4)
▼救急	交通事故/23(240)	一般負傷/28(357)	急病/99(1,330) その他/21(294)
▼救助	火災/0(10)	交通事故/3(17)	水難事故/0(4) その他/1(11)

注)【救急】その他=火災+労働災害+運動競技+加害+自損行為+転院搬送等

119番で消す+防
1月26日は「文化財防火デー」
昭和24年1月26日、日本最古の壁画が描かれた奈良県法隆寺金堂が焼損しました。その後も文化財の焼損が相次いだことから、消防庁などでは、文化財を火災や震災などの災害から護るとともに、国民の文化財愛護の心を育むため、昭和30年にこの日を「文化財防火デー」と定め、文化財防火運動を展開しています。
高島市内にも、史跡や彫刻、絵画等が国や県、市からそれぞれ指定された文化財が100件近くあります。貴重な財産である文化財を災害から保護し、これらを後世に伝えていくためにも、再度この時期に、文化財防火についての関心を高めていただくようお願いいたします。



1月15日号
平成19年

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地 電話0740-25-8130
高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>
高島市メールアドレス t-info@city.takashima.shiga.jp

12/10(日)



養成講座での成果を初披露
美しい音色に包まれて
「高島市民クリスマスジャズコンサート」

12/10(日)



ヨシ原の機能を活用して
琵琶湖をきれいに！
「ヨシ刈りとヨシ笛を楽しもう」

12/23(土)



まちづくりを中学生の視点で評価
「第1回高島市ふるさと自治大賞・
まちづくり活動実践大賞選考会」

CONTENTS 目次

タウンピックアップ	2~5	文化情報	15
シリーズ「財政」	6・7	防災情報	16
介護予防	8・9	消防からのお知らせ	16
情報お知らせ版	10~14		

